

発達センターちよだ 2019 年度保護者向け自己評価アンケート集計

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	4	1	0	もともと施設が小さい中で先生方はよく工夫されていると思います。 年中・年長児にとってはあ、外であそぶスペースは狭いと思う。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	13	2	1	希望を言えばもう少し増やしてほしい 個人的にはもっと先生が多い方が目が届くと思う。 年度初めや途中で先生の退職が続きクラスによっては数・スキルとも不足していると思う。 先生方はとても工夫し清掃にも力を入れてくださっています。ただ、やはり建物の老朽化や耐震にも不安になります。室内に危険と思える場所があり、心配です。 職員の配置換えが年に何度もあり、子どもたちが落ち着かなかった時期があった。安定を望みます。年度の途中で職員が辞めることが多すぎる。担任の交代が相次ぎ、混乱が生じた。	今年度、職員の退職や担任の交代があり、ご心配・ご迷惑をおかけしました。クラスの担任は勿論、職員全体で子どもたちに目を配り、安心して過ごせるようにしていきます。
	③	生活空間は、子ども本人にこの部屋で何をするのか示す等わかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	10	1	1	着替えが明け透けなので、特に年長児は着替えはパーテーションの向こうで子ども自身にプライバシーを守る習慣をつけることも必要ではと思う。 視覚支援がもう少しあるといい	子どもたちが生活を見通せるように必要に応じて、視覚支援を整えています。 着替え時の配慮など、子どもたちの安全を守りながらプライバシーの配慮の実施を考えていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	5	7	5	2	経年劣化による汚れ。 施設の老朽化により、掃除はしっかりされていても清潔とは言い難い。特にトイレは寒すぎる。 築50年以上の建物なので、心地よい空間とは言えない。老朽化が激しい。 先生が掃除をしてくれているが、建物が古いのでどうしても清潔とは言えない。心地よくも同じ理由です。	朝・夕方の掃除をすることにより、老朽化による危険箇所や修繕箇所を早期に見つけるようにしています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	4	0	2	保護者のニーズに対して比較的易しめな計画だと思う。客観的分析の結果といえばそれまでだが。	児童発達支援計画の説明を、懇談時にさせていただいています。今後、わかりやすくお話をさせていただけるようにしていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	16	3	1	0	もう少し細かく具体的に教えてほしい	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	1	0	3	親にはわかりづらい	
	⑧	日々のあそびや生活が、子どもに合わせて柔軟に工夫されているか	19	0	0	0	子どもが楽しそうにしているのを陰で見て、とても先生方が工夫してくれていると思った。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、地域の子どもと活動する機会があるか	3	4	9	3	年長児は交流があるようだが、2歳児から交流があってもよい ない 年少児のためなかった こちらから出向くのは難しい点もあるので、逆に保育園の子どもに来てもらっては。 年少・プレ年少には不要と考える。	今年度、新しく交流保育の実施園を増やしました。 今後も、近隣の保育園などにお願ひし、交流保育の実施を増やしていけるようにしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	3	0	1	もっとじっくり時間をかけて説明があってもよい 諸費用の具体的な内容が不明	年度初めの保護者会の時に、全体に向けてご説明させていただいています。 諸費用について、徴収月に費用明細を添付していますが、記入内容について再検討していきます。
	⑪	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15	1	1	2	「児童～提供すべき支援」が何のことか不明。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（子どもと一緒に捉え、理解を深める支援）が行われているか	14	2	1	2		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	3	0	0	連絡ノートをととても細かく書いてくれている	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育	15	4	0	0	定期的に面談の機会はあるが、もう少し多くして	水曜日の親子登園時など、保護者のみなさ

		児に関する助言等の支援が行われているか					もらえるとい	んと一緒に子どもの様子を一緒にとらえる機会にしています。今後も、子どもの姿と一緒にとらえながら、お伝えしていきます。
	⑮	保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	2	1	3		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	6	2	0	対応は遅く適切でないと感じることが度々あった。	懇談の申し出から、実施まで時間がかかり申し訳ありませんでした。できるだけ迅速に懇談を実施できるようにしていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	5	0	1	先生たちが忙しそうでなかなか話しかけられない時がある。	
	⑱	定期的に園だよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	2	0	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13	3	1	2		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	7	0	2	災害に対する避難訓練はあるが、防犯に対する訓練や研修会があっても良いと思う。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	4	0	1		
満足感	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	16	3	0	0	まだまだ喜んで行くという域には達していないが家庭では得られない経験ができています。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	5	0	1	施設の古さ、狭さなどハード面のハンディを職員の方の努力でカバーしていると思う。職員は限られた人数の中、よくやってくださっていると思う。	

回答数 19 (86%)

発達センターちよだ 2019年度事業者向け自己評価アンケート集計

	チェック項目	はい	どちらともいえない		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	いいえ			
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	2			
	2 職員の配置数は適切である	1	1	6	欠員の発生はあったが、その都度募集して補充している		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0	6	2	写真カードや日課ボードなど視覚支援している	必要に応じて情報伝達の方法に配慮する。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	5	1	毎日掃除をしている	老朽化による改修箇所を早めに把握し、修繕していく	
5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	2	1				
6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2	0	職員の全員でいただいたご意見に目を通し、改善するように心がけている			

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	定期的に研修の機会を設けている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	0	アセスメントを基に、複数で検討しあい作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	2			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	2			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2		全体で把握し、お互いに意見をする場を設けている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3		研修などを通じて子どもたちの発達に沿ったあそびを取り入れている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	2			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	3		朝礼を実施し全体で確認するようにしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3		終礼を実施し全体で把握するようにしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1		定期的にモニタリングを実施している		
関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	3			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/				

保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている								
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				3	5		移行した子どもたちについては、保護者の希望に基づきアフターケアを実施している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				3	5		移行した子どもたちについては、保護者の希望に基づきアフターケアを実施している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				3	5		東部地域療育センターぽけっとと共に研修を実施している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				5	2	1	年長児を対象に、交流保育を実施している。今年度は交流できる園を増やした	年長児が交流保育をしている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している				4	2	2	積極的に参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている				7	1		水曜日の親子登園日において、子どもの様子を伝えている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている				3	3	2	両親研修会や、保護者研修会を実施している	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	6			不明点が出た場合、その都度お伝えしている			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1		計画について説明し、同意を得ている				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	3		水曜日の親子登園日に、子どもの様子をとらえながらお話ししている				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			毎月保護者会がある。年に2回、父子のつどいがある				
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1			迅速に対応できるようにしていく			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		法人全体の新聞や、東部地域の新聞を発行している				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	1						
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1						
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8			地域開放の行事を行っている				

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	5		マニュアルの整備をしている。	多岐にわたる訓練が実施できるようにしていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			毎月の防災訓練をしている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1		状況表を基に全員で確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			医師の指示書に基づき実施している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			朝礼・終礼において報告している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	7			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	3	1		